

「やさしい日本語リーダー」 養成研修



東京都 やさしい日本語
イメージキャラクター
「やさカニくん」

日時 2026年11月27日(金) 10:00～17:00

※昼休憩 1時間

場所 新宿 NSビル内 会議室
(新宿区 西新宿 2-4-1)

参加費 無料

※詳細は受講決定者に後日ご連絡します。

対象 やさしい日本語を周りの人に広めたい

都内区市町村、その他公的機関、国際交流協会、外国人支援団体の職員等

※研修内でやさしい日本語の活用・応用練習のワークを行うため、
やさしい日本語の基礎(ポイントなど)を学んだ上でご参加ください。

※都内在住・在学・在勤の方優先

申込方法 下記の申込フォーム、または QR コードよりお申し込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/1NqiG3uQhj>



※締切：2026年11月8日(日)

※定員(30名)を超えた場合は、
フォームにご記入いただいた内容
を踏まえ、選考させていただきます。

※参加可否は～11月13日(金)まで
に全員にご連絡させていただきます。

研修についてもっと
知りたい方はこちら
(TIPS「やさしい日本語リー
ダー」養成研修ページ)



やさしい日本語リーダーとは…

やさしい日本語のさらなる普及のため、職場や地域でやさしい日本語を広める人

1. やさしい日本語の趣旨(=相手を思いやるコミュニケーションであること)を理解している。
2. やさしい日本語の基本的な知識や手法を知っている。
3. やさしい日本語の活用に積極的に取り組む姿勢がある。
4. 職場や地域で、やさしい日本語の普及啓発に取り組む意志がある。



私たちと一緒に、やさしい日本語を広めていきませんか？

研修ではやさしい日本語の意義や使い方を周囲の人たちに伝え、活用の取組みを進めていく方法を学びます。外国人当事者の意見を聞きながら、より伝わりやすいコミュニケーションを考える機会も提供します。

職場や地域で勉強会・研修を開くためのノウハウをお伝えするとともに、研修修了者には本研修で使用するスライドやワークシート、動画等のツールもご提供します！

主催：  公益財団法人
東京都つながり創生財団
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"

※当日会場内では、主催者による記録撮影および
メディアの取材が入る可能性があります。

[問合せ先] 多文化共生課 やさしい日本語普及啓発事業担当

TEL: 03-6258-1238 MAIL: yasaniichi@tokyo-tsunagari.or.jp

研修内容

午前		午後	
10:00~	研修開始		話しことば、書きことばについて
	やさしい日本語の背景と現状 ・在住外国人についての情報 ・在住外国人の困りごと ・やさしい日本語誕生の背景 ・活用事例 		実践練習 (外国人参加者とのワーク) 
	やさしい日本語のポイント		取り組み計画
	やさしい日本語ツールの使い方		質疑応答等 
	昼休憩 (60 分)	~17:00	研修終了

研修のゴール

- やさしい日本語の背景について話すことができる
- やさしい日本語の普及、現在の状況について話すことができる
- やさしい日本語のポイントについて伝えることができる
- やさしい日本語の補助ツール（リーディングチュウ太、やさしにチェックカー等）を使うことができる
- やさしい日本語の必要性について説明できる／なぜやさしい日本語を普及させたいかについて話すことができる
- やさしいの2つの意味：易しい／優しいを伝えることができる
- 難しい日本語を自分の環境から探し、やさしい日本語にできる（書き言葉）／難しい日本語かやさしい日本語かを聞いて判断できる（話し言葉）
- 外国人とのコミュニケーションにやさしい日本語が役立つという経験を持っている
- 外国人参加者を招いて勉強会を開くときの注意事項について理解している
- 勉強会の企画書を書くことができる
- 研修で使用／提供した教材（スライド）と動画の使い方を知っている

研修後の取り組み例

- 「職員向けに勉強会を企画し、実施した」「施設案内パンフレットのやさしい日本語版を制作した」
- 「区民向けのやさしい日本語基礎講座を企画・実施し、自身が講師を務めた」
- 「区で防災フェスタを実施することになり、地域の消防署や警察向けに勉強会を実施した」 など

研修参加者の声（一部抜粋）

- 「グループワークや外国の方と話す時間もたっぷりあり、今まで受けた研修の中で一番良かったです」（区市町村職員）
- 「長時間の研修とは思えないほどあっという間で、とても充実した研修を受講させていただきました」（社協職員）
- 「いくつかのワークがあり、グループのみなさんと一緒に考えながら学ぶことができて良かったです」（外国人支援団体職員）